

施策評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	046	市民の文化・芸術活動の支援				
総合計画	基本目標		人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）		主担当部課名	文化スポーツ部 文化振興課
	基本施策	05	文化・芸術活動の支援			
めざす姿	長い歴史の中で培われてきた伝統芸能や芸術文化を次世代へ継承するとともに、市民の中で芸術・文化活動が活発に行われている。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	16,251,000	16,951,000	16,405,000	16,729,000	22,470,000	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	13,000,000	0	0	0	0	
一般財源	3,251,000	16,951,000	16,405,000	16,729,000	22,470,000	
予算現額	16,251,000	17,015,000	16,079,000	16,738,000	0	
決算額	15,550,134	16,561,019	15,688,929	16,217,694	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	100,000	0	
一般財源	15,550,134	16,561,019	15,688,929	16,117,694	0	
執行率	95.7	97.3	97.6	96.9	0.0	
(人件費)						
職員数	2.12	2.69	2.56	2.72	0.00	
職員人件費	16,953,508	20,495,405	19,940,713	21,222,395	0	
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	610,390	603,451	1,369,202	946,995	0	
総コスト	33,114,032	37,659,875	36,998,844	38,387,084	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
府中の森芸術劇場自主事業参加者数	190,000	実績	232,357	223,933	261,924	-	197,600
	人	達成率	117.6	113.3	132.6	0.0	
武蔵国府太鼓伝承事業参加者数	50	実績	84	51	64	-	50
	人	達成率	168.0	102.0	128.0	0.0	
市民芸術文化祭参加者数	5,580	実績	5,267	4,968	5,643	-	5,780
	人	達成率	91.1	86.0	97.6	0.0	
市民芸術文化祭参観者数	121,247	実績	122,748	120,465	139,856	-	127,000
	人	達成率	96.7	94.9	110.1	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

指標の文化振興財団が実施する自主事業については、目標を上回る参加者数を達成できた。
 指標 武蔵国府太鼓初級講習会においては、平成27年より練習会場の定員の関係から応募資格に制限を設け、それに伴い目標値（参加者数）を修正した。今年度の応募は64名となり、目標値を達成した。
 指標 の市民芸術文化祭については平成28年度より「開会式」を「オープニングフェスティバル」と改称するなど参観者・参観者増加に努め、参観者数・参加者数は平成27年度に比べ増加した。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	
達成できている点	指標 府中の森芸術劇場自主事業参加者数については、目標を大幅に上回る参加があった。 指標 武蔵国府太鼓の初級講習会については、目標値を超える84名の応募があった。	指標 府中の森芸術劇場自主事業参加者数については、目標を大幅に上回る参加があった。指標 武蔵国府太鼓の初級講習会については、応募資格に制限を設けたことで例年に比べ応募は減ったが、少人数となったことでより充実した練習を行なうことができた。	指標 府中の森芸術劇場自主事業参加者数については、目標を大幅に上回る参加があった。指標 武蔵国府太鼓の初級講習会については、目標値を上回る応募があった。指標 市民芸術文化祭参観者については参観者増加に努めた結果、目標値を上回った。	
達成できていない点	指標 市民芸術文化祭参加者・参観者数については、事業の50周年記念及び市制施行60周年記念事業として規模を拡大して開催した影響もあり、参加者・参観者共に平成25年度より増加したが、目標値は下回った。	指標 市民芸術文化祭参加者・参観者数については、事業規模を拡大した前年を除いて、例年減少傾向にあるため、事業PRの方法について、検討が必要である。	指標 市民芸術文化祭参加者については、昨年度より増加したが目標値は下回った。	

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

- ・民俗芸能伝承普及事業では、府中囃子、武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者育成を行っている。府中囃子保存会の各支部において、地域に根ざした伝承・普及が行われた。また、武蔵国府太鼓では、武蔵国府太鼓連盟の協力により初級講習会を開催した。
- ・市民芸術文化祭では、これまで実行委員会を組織し、事業を実施してきたが、平成27年度より府中市芸術文化協会との共催により開催している。協会を中心として、市民が主体的に企画・立案を行い、市内で文化活動を行っている団体や個人が参加できる様々な催しを行うことができた。
- ・府中の森芸術劇場の芸術文化振興事業では、クラシック、演劇、伝統芸能など、観客の期待に応える幅広いジャンルの舞台芸術を提供した。
- ・文化活動支援事業では、府中市文化振興計画の計画期間が平成29年度をもって終了することから、引き続き本市における文化に関する施策を推進することを目的として、次期計画を策定する。平成28年度は、府中市文化振興計画検討協議会を設置し、3回開催した。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

- ・武蔵国府太鼓については、市の民俗芸能として市民に認識されつつあるが、継承団体数や規模は発展途上であり、講習会の修了者の処遇と併せて課題となっている。
- ・市民芸術文化祭については、文化の振興・伝統文化の次世代への継承といった観点で重要度の高い事業である。しかしながら、一般市民の集客が図れていない催物もあり、より多くの参加者・参観者に事業に携わっていただくため、効果的なPR方法についても考察する必要がある。
- ・芸術文化振興事業では、府中の森芸術劇場において、各ホールの特徴を活かした自主・共催・後援・貸館の各事業を含めた総合的な事業展開を目指していく。

今後の展開

- ・府中囃子、武蔵国府太鼓ともに現状のまま継続して実施する。平成29年度から武蔵国府太鼓の講習場所を変更し、内容を工夫し実施する。
- ・市民芸術文化祭については、平成27年度より府中市芸術文化協会との共催で実施したことにより、参加団体の自主性を高めた。より良い運営と更なる市民参加を目指し、引き続き、協会と協力し、参加者・参観者の増加につなげたい。
- ・芸術文化振興事業としては、顧客ニーズに応えた事業展開や芸術家及び地域社会との連携による芸術文化普及活動の推進の取組を行っていく。
- ・文化活動支援事業では、次期計画の策定に向けて、平成29年度は府中市文化振興計画検討協議会を5回開催する。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
民俗芸能伝承普及事業	府中囃子については、後継者を育成するため、府中囃子保存会に委託し伝承普及していく。武蔵国府太鼓については、広報にて講習生を募集し、初級講習会を実施していく。指導は武蔵国府太鼓連盟へ委託する。	府中囃子については、後継者を育成するため、府中囃子保存会に委託し伝承普及していく。武蔵国府太鼓については、広報にて講習生を募集し、初級講習会を実施していく。指導は武蔵国府太鼓連盟へ委託する。	府中囃子については、後継者を育成するため、府中囃子保存会に委託し伝承普及していく。武蔵国府太鼓については、広報にて講習生を募集し、初級講習会を実施していく。指導は武蔵国府太鼓連盟へ委託する。	府中囃子については、後継者を育成するため、府中囃子保存会に委託し伝承普及していく。武蔵国府太鼓については、広報にて講習生を募集し、初級講習会を実施していく。指導は武蔵国府太鼓連盟へ委託する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	府中囃子は、後継者の育成のため技術伝承を府中囃子保存会に委託し事業を継続的に展開した。武蔵国府太鼓は、武蔵国府太鼓連盟の協力により初級講習会を毎年開催し、府中市民芸術文化祭やさくら祭りで練習の成果を発表した。	府中囃子は、後継者の育成のため技術伝承を府中囃子保存会に委託し事業を継続的に展開した。武蔵国府太鼓は、武蔵国府太鼓連盟の協力により初級講習会を毎年開催し、府中市民芸術文化祭やさくら祭りで練習の成果を発表した。	府中囃子は、後継者の育成のため技術伝承を府中囃子保存会に委託し事業を継続的に展開した。武蔵国府太鼓は、武蔵国府太鼓連盟の協力により初級講習会を毎年開催し、府中市民芸術文化祭やさくら祭りで練習の成果を発表した。	
文化スポーツ部 文化振興課				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	9,524			
市民文化活動事業奨励事業	・府中市民芸術文化奨励賞5月1日号広報で推薦を募集、審査委員会にて審査。 ・府中市文化活動功労賞 府中市文化団体連絡協議会及び文化センター自主グループ連絡会に候補者の推薦を依頼、主管課にて審査、共に該当者は府中市民芸術文化祭記念式典で表彰する。	・府中市民芸術文化奨励賞4月11日号広報及びホームページで推薦を募集、審査委員会にて審査。 ・府中市文化活動功労賞 府中市芸術文化協会及び文化センター自主グループ連絡会に候補者の推薦を依頼、主管課にて審査、共に該当者は府中市民芸術文化祭開会式で表彰する。	・府中市民芸術文化奨励賞4月11日号広報及びホームページで推薦を募集、審査委員会にて審査。 ・府中市文化活動功労賞 府中市芸術文化協会及び文化センター自主グループ連絡会に候補者の推薦を依頼、主管課にて審査、共に該当者は府中市民芸術文化祭開会式で表彰する。	・府中市民芸術文化奨励賞4月11日号広報及びホームページで推薦を募集、審査委員会にて審査。 ・府中市文化活動功労賞 府中市芸術文化協会及び文化センター自主グループ連絡会に候補者の推薦を依頼、主管課にて審査、共に該当者は府中市民芸術文化祭開会式で表彰する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	府中市民芸術文化奨励賞については、1名、1団体の受賞者を選定し、計画値を下回った。 府中市文化活動功労賞については、受賞条件に該当する者が12名と、計画値を下回った。	府中市民芸術文化奨励賞については、該当者がおらず、計画値を下回った。 府中市文化活動功労賞については、受賞条件に該当する者が14名と、計画値を下回ったが、昨年度より2名増加している。	府中市民芸術文化奨励賞については、該当者がおらず、計画値を下回った。 府中市文化活動功労賞については、受賞条件に該当する者が11名と、計画値を下回った。	
文化スポーツ部 文化振興課				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,868			
市民芸術文化祭運営事業	平成26年9月15日事業開催 平成26年10月5日記念式典 平成26年11月29日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・グリーンプラザ・郷土の森博物館・美術館・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中	平成27年9月6日開会式 平成27年11月28日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・グリーンプラザ・郷土の森博物館・美術館・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中	平成28年9月開会式 平成28年12月閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・グリーンプラザ・郷土の森博物館・美術館・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中	平成29年9月開会式 平成29年12月閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・グリーンプラザ・郷土の森博物館・美術館・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	府中市民芸術文化祭実行委員会に事業の運営を委託し、全42事業を実施した。10月5日に府中の森芸術劇場どりーむホールで開催した50周年記念式典では、全4部構成による様々な分野の演目を行った。	府中市芸術文化協会との共催で実施し、全41事業を実施した。9月6日に府中の森芸術劇場ふるさとホールで開催した開会式典では、2部構成で協会加盟団体ほかによる様々な演目を行った。	府中市芸術文化協会との共催で実施し、全41事業を実施した。9月4日に府中の森芸術劇場ふるさとホールで開催したオープニングフェスティバル（「開会式」より改称）では、2部構成による様々な分野の演目を行った。	
文化スポーツ部 文化振興課				
事業種別				
重点プロジェクト				
4か年事業費計(単位:千円)				
	53,364			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H28年度		H29年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 市民芸術文化祭運営事業	30		13,260,000	12,809,362	13,144,000	市民芸術文化祭の実施	B	1
2 民俗芸能伝承普及事業	30		2,520,000	2,337,484	3,202,000	民俗芸能の伝承普及、後継者育成	B	1
3 市民文化活動事業奨励事業	30		126,000	69,273	119,000	芸術文化活動において特に功績のあった者と、長期にわたり芸術文化団体の活動に尽力した者の表彰	B	1
4 文化活動支援事業	30		531,000	515,716	5,768,000	市民を対象として実施される文化事業に補助金を交付する。また、第2次府中市文化振興計画を策定	B	1
5 市民文化の日運営事業	30		292,000	485,859	237,000	市民文化の日の実施。	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			16,729,000	16,217,694	22,470,000			

施策評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	047	文化施設の有効活用				
総合計画	基本目標		人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）		主担当部課名	文化スポーツ部 文化振興課
	基本施策	05	文化・芸術活動の支援			
めざす姿	国内外の多彩な文化・芸術を鑑賞・学習する機会や、市民の文化・芸術活動の発表の場として、安心して快適な施設を提供しています。また、市民の文化意識の醸成が図られ、文化の香るまち「府中」が築かれています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	1,610,045,000	1,746,597,000	1,515,654,000	1,568,228,000	2,051,326,000	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	35,000,000	83,800,000	87,000,000	78,000,000	0	
市債	68,000,000	0	10,000,000	0	311,000,000	
その他	563,898,000	423,803,000	73,703,000	65,364,000	310,777,000	
一般財源	943,147,000	1,238,994,000	1,344,951,000	1,424,864,000	1,429,549,000	
予算現額	1,634,141,000	1,766,349,000	1,559,409,000	1,621,516,000	0	
決算額	1,580,468,795	1,731,792,836	1,521,392,417	1,565,106,964	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	77,200,000	110,468,000	68,200,000	96,100,000	0	
市債	67,000,000	0	10,000,000	0	0	
その他	121,005,481	100,453,549	55,839,133	74,245,741	0	
一般財源	1,315,263,314	1,520,871,287	1,387,353,284	1,394,761,223	0	
執行率	96.7	98.0	97.6	96.5	0.0	
(人件費)						
職員数	14.74	16.04	15.81	15.77	0.00	
職員人件費	117,838,989	122,108,168	123,174,682	122,902,383	0	
嘱託員数	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
嘱託員人件費	3,238,077	3,350,723	3,269,483	3,217,657	0	
(間接経費)						
間接経費	10,189,121	10,239,571	10,186,198	9,450,191	0	
総コスト	1,711,734,982	1,867,491,298	1,658,022,780	1,700,677,195	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
郷土の森博物館入場者数	278,021	実績	266,106	294,858	308,057	-	333,000
	人	達成率	79.9	88.5	92.5	0.0	
美術館入場者数	174,994	実績	223,496	203,721	261,628	-	200,000
	人	達成率	111.7	101.9	130.8	0.0	
府中の森芸術劇場3ホール平均稼働率	72.1	実績	77	77.2	79.3	-	76
	%	達成率	101.3	101.6	104.3	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

指標の郷土の森博物館は、あじさいまつりが過去最高の入場者数となったことや、プラネタリウム番組が好評だったことなどにより入場者数の増につながった。
 指標の美術館入場者数は、企画展の入場者が多く、目標を上回ることができた。
 指標の府中の森芸術劇場の3ホールの稼働率は、ダイレクトメールやチラシ等による利用促進に努めた結果、目標値を上回ることができた。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	
達成できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館では、常設展示室のリニューアルにより、新たな見学者やリピーターを獲得しつつある。・ミレー展は入場者数も多く意義ある展覧会と評価できる。また、賛助会員制度を創設した。・芸術劇場では、ダイレクトメールの送付等によりホール平均稼働率が目標を達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館は常設展示室のリニューアル効果に伴い学習利用の増加等入場者数が目標値に近づいた。・美術館はマリ・ローラン展等企画展の総入場者数が20万人となり目標値を超えたことから評価できる。・芸術劇場はダイレクトメール送付や利用促進ポスターの掲示等によりホール平均稼働率が目標を達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館はあじさいまつりやプラネタリウム番組が好評だったことから入場者数が目標値に近づいた。・美術館は藤田嗣治展をはじめ企画展入場者数も多く、目標値20万人を超えたことから一定の成果があったと評価できる。・芸術劇場は利用促進に努めたほか、老朽化対策の検討を始めた。 	
達成できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館では、リニューアルに伴うプラネタリウムの休止等により入館者減となった。 ・美術館では、機械設備の更新が実施できていない。 ・芸術劇場では、老朽化が進んでいる部分の修繕を計画的に行っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館では、機械設備の一部に更新が実施できていないものがある。 ・芸術劇場では、老朽化が進んでいる施設の修繕を計画的に行っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館では、施設の大規模改修に向けて計画的に準備を進めていく必要がある。 ・美術館では、機械設備の一部に更新が実施できていないものがある。 ・芸術劇場では、老朽化が進んでいる施設の修繕を計画的に行っていく必要がある。 	

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の森博物館については、昭和62年の開館以来、多くの方々にご利用いただくとともに、ふるさと府中の貴重な歴史資料を収集・保管・活用してきた。多摩地区の総合博物館として、市外からの入館者も多く、本市の歴史・文化の拠点ともいえる教育施設である。また、学校教育との連携など地域に根ざした市民とともに働く博物館として、市民の評価も高い。平成28年度より天文部門の運営に民間組織である(株)五藤光学研究所が指定管理者として参画し、プラネタリウムの更新など、より効果的な運営を目指す。 ・美術館では、展覧会(企画展、所蔵品及び常設展)の開催、美術普及事業(公開制作、ワークショップ、アートスタジオ等)の実施、ボランティアの育成、美術品の収集、美術図書資料の整備、美術鑑賞教室事業の実施、市民ギャラリーの貸出を行ってきた。 ・府中の森芸術劇場では、適正かつ計画的な維持管理運営に努めた。平成28年度は開館25周年を迎え、記念事業を中心に様々な事業を展開し、文化活動の拠点として多くの市民にご利用いただいた。また、府中の森芸術劇場分館を平成29年度より開館するにあたり、指定管理者候補者選定委員会を設置し指定管理者の選定を行ったほか、パンフレット作成や事前予約の実施など、開館準備を行った。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<ul style="list-style-type: none"> ・博物館としての魅力的な事業を企画・実施するとともに、効果的に周知し、入館者の更なる増加を図る。 ・美術館では、入館者数の増加、経営改善への取組、教育普及活動の充実などに加え、地域との積極的な交流とボランティアとの連携など市民協働の取組も重要となってきている。 ・博物館、美術館、芸術劇場ともに、老朽化が進んだ施設の修繕等の対応が課題となっている。
今後の展開
<ul style="list-style-type: none"> ・博物館では、目標を達成するとともに、博物館本館常設展示室やプラネタリウムを教育資源として活用していくために、学校との連携を強化していく。これまでの実績を活かし、地域に根ざした博物館活動を行うとともに、さらなる事業の充実を図る。 ・美術館では、「生活と美術一美と結びついた暮らしを見直す美術館」という基本テーマの理念に沿い、市民に親しまれる美術館活動を引き続き行っていく。また、収集保存・展示活用・教育普及の3つのバランスのとれた美術館運営を図っていく。さらに、不具合箇所洗い出しや特定天井の改修工事を行い、施設整備改善の取組みを前進させる。 ・府中の森芸術劇場では、平成29年度に開館する分館の運営とあわせて指定管理者である公益財団法人府中文化振興財団と連携し施設の適正な管理運営に努める。施設の老朽化に伴い、これまで改修を行っていない設備の改修を計画的に進める。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
府中の森芸術劇場管理運営事業	指定管理に係る基本協定書に基づき運営する。経年劣化による不具合が生じている設備について、修繕等を行う。	指定管理に係る基本協定書に基づき運営する。経年劣化による不具合設備の修繕等を計画的に行っていく。	指定管理に係る基本協定書に基づき運営する。経年劣化による不具合設備の修繕等を計画的に行っていく。	指定管理に係る基本協定書に基づき運営する。経年劣化による不具合設備の修繕等を計画的に行っていく。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	文化スポーツ部 文化振興課	文化スポーツ部 文化振興課	文化スポーツ部 文化振興課	文化スポーツ部 文化振興課
事業種別	指定管理者と連携し施設の適正な維持管理・運営に努めており、ダイレクトメールの送付等の利用促進により稼働率が目標値を上回った。老朽化の進んだ箇所について、今後修繕計画を立てていく必要がある。	指定管理者と連携し施設の適正な維持管理・運営に努めており、ダイレクトメールの送付等の利用促進により稼働率が目標値を上回った。今後も目標値を達成できるように利用促進を図る。また、老朽化の進んだ施設について、改修すべく計画を立てていく必要がある。	指定管理者と連携し施設の適正な維持管理・運営に努めており、ダイレクトメールの送付等の利用促進により稼働率が目標値を上回った。今後も目標値を達成できるように利用促進を図る。また、老朽化の進んだ設備について、改修を計画的に行っていく必要がある。	
主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	1,100,112			
郷土の森博物館管理運営事業	入場者の増を目指すため、本館常設展示リニューアル工事を、昨年に引き続き上期に実施する。これに伴い、平日のプラネタリウム投影を休止する。	魅力的な事業を増やし、入場者増を図る。また、次期指定管理者の選定を行う。	新たな指定管理者により、更なる魅力的な事業を増やし、入場者増を図る。	引き続き、更なる魅力的な事業を増やし、入場者増を図る。
【進捗状況】	やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	文化スポーツ部 ふるさと文化財課	文化スポーツ部 ふるさと文化財課	文化スポーツ部 ふるさと文化財課	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
事業種別	本館常設展示室のリニューアルによって、新たな見学者や更なるリピーターを獲得しつつあるが、リニューアル工事に伴い、上期にプラネタリウムの休止や魅力的な事業を打ち出せなかったため、入館者減となってしまった。	本館常設展示室のリニューアル工事が完了し、その効果で入場者数増につながった。また、学習利用や教員研修などにも多く活用された。	あじさいまつりやプラネタリウムの番組が好評だったことから入場者数増につながった。また、学習利用や教員研修などにも多く活用された。	
主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	963,408			
美術館維持管理事業	適正な施設管理に努めるとともに、利用者の増加を図る。経営改善のため、メンバーシップ制度の改革、ショップとカフェの運営の改革を検討する。ボランティアとの協働を推進する。	適正な施設管理に努めるとともに、利用者の増加を図る。経営改善のため、賛助会員制度の充実を図る。ショップとカフェの運営の改革を実施する。ボランティアとの協働を推進する。	適正な施設管理に努めるとともに、利用者の増加を図る。経営改善のための取組を継続。ボランティアとの協働を推進する。	適正な施設管理に努めるとともに、利用者の増加を図る。経営改善のための取組を継続。ボランティアとの協働を推進する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	文化スポーツ部 美術館	文化スポーツ部 美術館	文化スポーツ部 美術館	文化スポーツ部 美術館
事業種別	市制施行60周年記念「ミレ一展」は入場者数も多く、意義のある展覧会と評価できる。経営改善のため、メンバーシップ制度を改革し、賛助会員制度を創設した。機械設備の更新は実施できていない。	目標は達成できているので一定の成果があったものとして評価できる。経営改善のため、メンバーシップ制度を改革し、賛助会員制度の推進を図った。機械設備の更新については、一部実施できていない。	目標は達成できているので一定の成果があったものとして評価できる。経営改善のため、賛助会員入会の推進を図り、新たに高校、大学のそれぞれ一校が加入した。機械設備の更新については、一部実施できていない。	
主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	489,392			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H28年度		H29年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 グリーンプラザ管理運営事業	30		128,924,000	123,379,364	125,262,000	府中グリーンプラザの管理及び運営	D	2
2 市民会館管理運営事業	30		170,583,000	168,738,561	170,646,000	市民会館の管理及び業務運営	B	1
3 府中の森芸術劇場管理運営事業	30		383,185,000	369,611,288	827,218,000	府中の森芸術劇場の管理及び運営	B	1
4 補助金 文化振興財団	30		261,642,000	261,642,000	259,021,000	府中グリーンプラザ・府中の森芸術劇場・府中市郷土の森博物館の自主事業の支援	B	1
5 郷土の森博物館管理運営事業	30		359,316,000	399,046,552	415,304,000	郷土の森博物館における維持管理・企画運営に係る事業	A	
6 美術館維持管理事業	30		137,226,000	120,358,606	125,657,000	府中市美術館の管理及び運営	B	2
7 美術館展覧会運営事業	30		91,167,000	88,954,425	95,725,000	企画展の開催	B	1
8 美術館常設展等運営事業	30		36,185,000	33,376,168	32,493,000	所蔵品展及び常設展の開催	B	1
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			1,568,228,000	1,565,106,964	2,051,326,000			

施策評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	048	歴史文化遺産の保存と活用				
総合計画	基本目標		人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）		主担当部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	基本施策	05	文化・芸術活動の支援			
めざす姿	市民と協働で貴重な歴史文化遺産の保存と活用を適切に行い、市内の遺跡の調査・研究を行うことで歴史文化遺産への理解を深めるとともに、歴史文化遺産を観光資源として積極的に活用し、「歴史と伝統のあるまち・府中」への郷土愛を高めて、市民一人ひとりが誇りと愛着の持てるまちとなっています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	116,176,000	116,001,000	183,021,000	244,758,000	496,194,000	
国庫支出金	27,635,000	23,750,000	51,300,000	75,120,000	189,990,000	
都支出金	12,192,000	10,250,000	23,775,000	35,935,000	93,675,000	
市債	0	0	0	0	0	
その他	5,000	30,000	30,000	23,000	40,000	
一般財源	76,344,000	81,971,000	107,916,000	133,680,000	212,489,000	
予算現額	116,185,000	116,001,000	155,305,000	221,859,000	0	
決算額	107,448,842	107,391,854	129,742,948	173,012,662	0	
国庫支出金	26,741,000	21,617,000	32,093,000	41,139,000	0	
都支出金	12,805,000	12,273,000	17,922,000	31,465,000	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	32,800	23,700	14,300	166,020	0	
一般財源	67,870,042	73,478,154	79,713,648	100,242,642	0	
執行率	92.5	92.6	83.5	78.0	0.0	
(人件費)						
職員数	10.75	10.90	10.80	10.80	0.00	
職員人件費	85,917,956	82,989,930	84,145,424	84,159,032	0	
嘱託員数	3.00	4.00	7.00	8.00	0.00	
嘱託員人件費	9,714,231	13,402,892	22,886,381	25,741,256	0	
(間接経費)						
間接経費	627,294	902,396	1,207,413	1,047,840	0	
総コスト	203,708,323	204,687,072	237,982,166	283,960,790	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
ふるさと歴史館入場者数	44,152	実績	57,306	92,360	88,962	-	47,000
	人	達成率	121.9	196.5	189.3	0.0	
武蔵府中熊野神社古墳展示館入場者数	6,674	実績	10,481	11,745	10,138	-	14,600
	人	達成率	71.8	80.4	69.4	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

ふるさと歴史館及び武蔵府中熊野神社古墳展示館の入場者数は年々増加傾向であり、各施設の認知度の向上と、学校利用などの活用が増加している。しかし、団体利用については天候により中止となることがたびたびあった。また、土曜日・日曜日・祝日などと大雨・真夏日・台風といった荒天が重なることが多く、見学のキャンセルがあり、昨年度より少なくなっている。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標以上に進んでいる	目標以上に進んでいる	目標達成に向け順調に進ちょくしている	
達成できている点	ふるさと府中歴史館や武蔵府中熊野神社古墳展示館は、年々入場者数が増え、認知されるようになってきている。	ふるさと府中歴史館や武蔵府中熊野神社古墳展示館の入場者数は、年々増えており、着実に多くの方に認知されている。	ふるさと府中歴史館や武蔵府中熊野神社古墳展示館の入場者数が、天候の影響でやや落ちているが、多くの方に認知されている。	
達成できていない点	市内には、様々な文化財が存在しているが、まだ認知されていないものが数多くあるため、周知の方法を考える必要がある。	市民と協働による歴史文化遺産の保存と活用という点では、まだまだ検討する必要がある。	市民との協働のあり方について、歴史文化遺産の活用の機会を増やすような検討が必要である。	

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

埋蔵文化財保存活用事業は、昭和50年の文化財保護法一部改正に伴い、府中市遺跡調査会を発足して以降現在まで市内の埋蔵文化財包蔵地で市民の理解と協力により、1,700箇所を超える発掘調査を実施してきた。平成27年度は府中市遺跡調査会40周年記念事業として、40年に及ぶ調査成果を紹介し、多くの市民に発掘調査の重要性と貴重な成果を知っていただく機会となった。

武蔵国府跡は、40年近くに及ぶ発掘調査を継続してきた結果、大國魂神社境内地及びその東側に国衙跡が所在していたことが確定し、平成21年7月に国史跡の指定を受けた（国衙地区）。また、平成20年から22年にかけてJR府中本町駅前で行われた発掘調査において、初期の国司館跡と推定される大型建物群が発掘され、平成23年2月に国史跡の追加指定を受けた（国司館地区）。この地区については、平成23年度に市民主体の懇談会からの提言、平成24年度に保存整備活用基本計画の策定、平成25年度に武蔵国府跡全体の保存管理計画の策定、平成26年度に基本設計、平成27年度に実施設計を実施し、平成28年度に保存活用整備工事第一期に着手した。

ふるさと府中歴史館の整備は、平成20年度に建築工事と展示工事の実施設計を行い、全体計画を取りまとめ、1階を「国府資料展示室」と「万葉集の世界」と「くらやみ祭紹介コーナー」、2階を「宮町図書館」と「公文書史料展示室」と「事務室」、3階を「事務室」と「国府資料室」として整備した。平成21年度からは耐震改修工事、各種設備工事、展示工事を進め、平成23年4月に開館となった。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

市民の協力によって実施してきた埋蔵文化財発掘調査の成果をいかに市民に還元するか、過去の発掘成果を公にする調査報告書の早期刊行、原因者に負担を求めている発掘調査費の軽減などが課題である。

国史跡武蔵国府跡（国司館地区）の保存整備活用にあたっては、史跡の保存とJR府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間の両立を目指し、設計・施工を進めていく。

ふるさと府中歴史館については、くらやみ祭展や発掘された最新の遺物の展示のほか、公文書史料展示室における貴重な史料の公開などにより内容の充実を努め、多くの来館者やリピーターの確保につなげていきたい。

今後の展開

埋蔵文化財保存活用事業における発掘調査成果は、フォーリスを会場とする「発掘お宝展」や市民向けのパンフレットにより市民に周知する。社会的な環境の激変に対応できるよう、市で実施する発掘調査及び整理事務の体制・内容や、埋蔵文化財整理事務所のあり方などの見直しを進め対応したい。

武蔵国府跡は、史跡の歴史的価値を広く市内外へ発信するため、市民と協働で活用を図っていく。

ふるさと府中歴史館は、府中市の歴史や文化を紹介し、広く市民の郷土愛を高める施設として、多くの方に来館していただく施設としたい。

ふるさと府中歴史館にある歴史資料の整理・保管・管理の進め方等について、今後検討する必要がある。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
埋蔵文化財保存活用事業	緊急発掘調査、保存目的確認調査の実施。調査報告書の作成・再整理。刊行済み報告書のデータ化。フィルム類のデジタル化、埋蔵文化財情報データベースシステムの更新。遺物の保存処理。埋蔵文化財を広く市民に伝えるための催しの開催。埋蔵文化財整理事務所の管理。	緊急発掘調査、保存目的確認調査の実施。調査報告書の作成・再整理。刊行済み報告書のデータ化。フィルム類のデジタル化、埋蔵文化財情報データベースシステムの更新。遺物の保存処理。埋蔵文化財を広く市民に伝えるための催しの開催。埋蔵文化財整理事務所の管理。	緊急発掘調査、保存目的確認調査の実施。調査報告書の作成・再整理。刊行済み報告書のデータ化。フィルム類のデジタル化、埋蔵文化財情報データベースシステムの更新。遺物の保存処理。埋蔵文化財を広く市民に伝えるための催しの開催。埋蔵文化財整理事務所の管理。	緊急発掘調査、保存目的確認調査の実施。調査報告書の作成・再整理。刊行済み報告書のデータ化。フィルム類のデジタル化、埋蔵文化財情報データベースシステムの更新。遺物の保存処理。埋蔵文化財を広く市民に伝えるための催しの開催。埋蔵文化財整理事務所の管理。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
	所管部署	熊野神社古墳の墳丘の一部の残存状態や国府八幡宮境内地の一部で保存目的確認調査を行った。過去の報告書や調査箇所のデータ化を行った。埋蔵文化財のイメージキャラクターを作成し、イベント会場で積極的に市の遺跡紹介と埋蔵文化財の保護をPRした。	熊野神社古墳の墳丘1段目の北西角が確認され墳丘規模がほぼ確定できた。府中市遺跡調査会40周年記念事業として発掘調査成果を市民にわかり易く発表し、多くの市民参加と市内遺跡の重要性について理解が得られた。	国府八幡宮境内地の一部で保存目的確認調査を行った。新庁舎予定地の発掘調査では、子ども向けの発掘体験、発掘現場見学会を行い埋蔵文化財についてPRした。
	文化スポーツ部 ふるさと文化財課			
	事業種別	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	472,400			
武蔵国府跡保存活用事業	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）基本設計	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）実施設計	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存整備工事	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存整備工事竣工
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
	所管部署	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存整備基本設計について、文化庁・東京都の指導助言のもと、協議会で具体的な検討を行いながら実施した。	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存整備実施設計について、文化庁・東京都の指導助言のもと、協議会で具体的な検討を行いながら実施した。	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期）に着手し、造成工事等を行った。また、第1期工事分である国司館地区賑わい創出ゾーンについて、JR府中本町駅にふさわしい賑わいと魅力ある空間の創出を目指して、民間活力の導入に向けた市場調査等を行った。
	文化スポーツ部 ふるさと文化財課			
	事業種別	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	20,000			
ふるさと府中歴史館管理運営事業	館の管理運営のほか歴史的文書資料の選別・収集・整理をする。データベースシステムを運用する。くらやみ祭特別展や夏休み子ども向け発掘特別展を開催する。ふるさと府中歴史講座の実施や学芸員のこだわり展示を開催する。	館の管理運営のほか歴史的文書資料の選別・収集・整理をする。データベースシステムを運用する。くらやみ祭特別展や夏休み子ども向け発掘特別展を開催する。ふるさと府中歴史講座の実施や学芸員のこだわり展示を開催する。	館の管理運営のほか歴史的文書資料の選別・収集・整理をする。データベースシステムを運用する。くらやみ祭特別展や夏休み子ども向け発掘特別展を開催する。ふるさと府中歴史講座の実施や学芸員のこだわり展示を開催する。	館の管理運営のほか歴史的文書資料の選別・収集・整理をする。データベースシステムを運用する。くらやみ祭特別展や夏休み子ども向け発掘特別展を開催する。ふるさと府中歴史講座の実施や学芸員のこだわり展示を開催する。
	【進捗状況】 目標以上に進んでいる	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
	所管部署	館の管理運営のほか歴史的文書資料の選別・収集・整理を行った。データベースシステムを運用した。くらやみ祭特別展や夏休み子ども向け発掘特別展を開催した。ふるさと府中歴史講座の実施や学芸員のこだわり展示を開催した。	館の管理運営のほか歴史的文書資料の選別・収集・整理を行った。データベースシステムを運用した。くらやみ祭特別展や夏休み子ども向け発掘特別展を開催した。ふるさと府中歴史講座の実施や学芸員のこだわり展示を開催した。	館の管理運営のほか歴史的文書資料の選別・収集・整理を行った。データベースシステムを運用した。くらやみ祭特別展や夏休み子ども向けワークショップ、出土遺物の特別展を開催した。
	文化スポーツ部 ふるさと文化財課			
	事業種別	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	119,904			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H28年度		H29年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 歴史文化財保存活用事業	20		5,852,000	5,295,706	15,577,000	市内文化財の保存及び活用	B	1
2 埋蔵文化財保存活用事業	20		65,568,000	55,725,562	63,267,000	市内の地下に保存されてきた埋蔵文化財(遺跡)の保護・活用	B	1
3 武蔵国府跡保存活用事業	20		111,692,000	58,842,053	342,964,000	国史跡武蔵国府跡の保存・活用	A	
4 文化財整備事業	10		1,360,000	1,366,000	5,500,000	市内文化財の保存及び活用を図るために、整備工事を実施する。	B	1
5 ふるさと府中歴史館管理運営事業	30		26,584,000	22,963,489	25,006,000	「ふるさと府中歴史館」として管理・運営する。	B	1
6 武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営事業	20		6,843,000	6,159,112	7,366,000	国史跡 武蔵府中熊野神社古墳展示館の管理、運営	B	1
7 市史編さん事業	30		26,859,000	22,660,740	36,514,000	府中市史編さん事業	B	1
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			244,758,000	173,012,662	496,194,000			